

第 16 回 悪霊に対するイエスの権威
(5:1~20)

《アウトライン》

1. 悪霊につかれた人 (5:1-5)
2. イエス 対 大勢の悪霊 (5:6-13)
3. 人々の反応 (5:14-17)
4. 悪霊につかれていた人の応答 (5:18-20)

《結論》 クリスチャンと超自然的な世界観

《聖書研究メモ》

4:35~6:6a までの流れ

- ・ 嵐を鎮める奇跡→自然に対するイエスの権威 (4:35-41)
- ・ 大勢の悪霊の追い出し→悪霊に対するイエスの権威 (5:1-20)
- ・ 長血の女性の癒やし→病に対するイエスの権威 (5:25-34)
- ・ 死者の蘇生→死に対するイエスの権威 (5:21-24, 35-43)
- ・ ナザレの人々の不信仰 (6:1-6a)

5:1 「湖の向こう岸、ゲラサ人の地」

異邦人の地。ガリラヤ湖の真東には、断崖絶壁になっている場所がある。

5:2 「汚れた霊」

悪霊（あくれい）のこと。ざっくり言うと神に属していない霊、といったニュアンスの表現。

5:3~5 「汚れ」のモチーフ

- ・ 異邦人の地
- ・ 汚れた霊
- ・ 墓場：モーセの律法では、死体に触れると儀式的に汚れる（民 19:11, 16 など）。
古代ユダヤ教では、墓に触れるだけでも汚れるとされていた。
- ・ 豚：モーセの律法では、豚は汚れた動物である（レビ 11:7; 申 14:8）。

5:7 「いと高き神の子」

「いと高き神」は、イスラエルの神が他の宗教の偶像より優っていることを表す呼び方（創 14:18; ダニ 3:26; 使徒 16:17 など）。

5:9 「レギオン」

ローマ帝国軍の軍団の単位。1 レギオン=約 6,000 人。

5:20 「デカポリス地方」=10 (デカ) の町 (ポリス)

今回の出来事があった場所より南にある、ギリシャ風の 10 の町から成っていた地方。

9 つの町はヨルダン川の東側、1 つの町だけはヨルダン川の西側にあった。異邦人が多く住んでいた。